

# JALE2020 日本景観生態学会 信州大会 エクスカーション@安曇野のご案内

日本景観生態学会信州大会実行委員会

北アルプスの雄大な自然や景観の恵みを受けながら、その裾野に広がる安曇野の盆地。本大会のエクスカーションでは、信州ならではの自然のスケール感を背景に、里地里山の3つのフィールドを巡ります。いずれも長い歴史のなかで豊かな生物多様性を育みながら、関わる人々の力によって現在に受け継がれているフィールドです。

【日 程】 5月31日(日) 7:45 集合 16:50 解散(予定)

【参加費】 一般5,000円 学生4,000円

※ 昼食代は含まれておりません。昼食は各自持参をお願いします。

【定 員】 最大30名

※ マイクロバスの定員の都合上、先着30名様限定でのご案内となります。  
ご了承の上、希望される方はお早めにお申し込みください。

【持ち物】 昼食・飲み物

※ 途中で購入できる場所はありません。必ず事前にご用意ください。

## 【スケジュール概要】

7:45	J R長野駅(東口)集合、マイクロバス乗車
8:00	マイクロバス出発
	～ 高速道路 筑北 SA で松枯れの観察・トイレ休憩～
9:50	長峰山蝶の森～長峰山山頂 [フィールド①] ※ 山頂にて早めの昼食
11:40	マイクロバス出発
12:20	穂高牧の棚田 [フィールド②]
13:40	マイクロバス出発
14:20	大王わさび農場 [フィールド③]
15:30	マイクロバス出発
15:45	J R篠ノ井線 田沢駅、希望者の降車・解散 ※ 希望者がいない場合は、立ち寄りません
16:50	J R長野駅(東口)到着・解散

## 【フィールド紹介】

### 長峰山蝶の森～長峰山山頂〔フィールド①〕 ※ 山頂で早めの昼食をとります

標高およそ 900m のアカマツやコナラの植生。放置されていたが NPO によって里山と草原を再生し、およそ 20 年にわたり整備が継続されている。また山頂は少なくとも戦前から採草地として利用され、現在は北アルプスと安曇野を一望できる眺望地として維持されている。ジオパーク的の景観および草原性の植物や昆虫類を観察。そして保全の取り組みについて解説する。  
ガイド：永田千恵子氏（NPO 森倶楽部 21）、  
松田貴子氏（安曇野市豊科郷土博物館）



### 穂高牧の棚田〔フィールド②〕

北アルプスの裾野に位置し、圃場整備を一度も行わず現在まで維持されている棚田。曲線を描く耕作地や側溝の景観を眺めながら所有者にご案内いただく。また棚田に残る多くの在来植物について解説する。

ガイド：二反田武治氏（所有者）、  
松田貴子氏（安曇野市豊科郷土博物館）



### 大王わさび農場〔フィールド③〕

北アルプスを源とする犀川、穂高川、高瀬川の 3 川が合流するエリアで湧水が豊富であり、これを利用したワサビ栽培が盛んな地域である。谷一帯に広がるワサビ田の景観。澄んだ湧水を湛えた水路にはバイカモや外来植物のオオカワヂシャが繁茂する。水車小屋の屋根は前日シンポジウムのパネリスト松澤朋典氏の手によるもので、茅葺についてご解説いただく。ここで土産も購入可能。

ガイド：松澤朋典氏（株式会社小谷屋根）

